



一般社団法人 愛媛県中小企業診断士協会
発行人：会長 山本 久美
編集：広報委員会

〒790-0003 松山市三番町 4-8-7 第5越智会計ビル1F
TEL：089-961-1640 URL：http://shindan-ehime.com
E-mail：shinai@shindan-ehime.com

🍅🍆 目次

◆会長挨拶(山本久美).....	1
◆事業紹介：新居浜商工会議所(多田稔).....	3
◆スキルアップ研修：愛媛大学教授によるAI・IoT講座(濱田悠介).....	4
◆オンライン会議活用研究会について(濱田悠介).....	4
◆入会ご挨拶(中木戸康博).....	5
◆入会ご挨拶(高野祐介).....	6
◆入会ご挨拶(高木佑典).....	7
◆入会ご挨拶(松下武司).....	7
◆入会ご挨拶(溝淵博志).....	8
◆お知らせ(事務局).....	8



会長挨拶

会長 山本 久美

■オンライン活用の推進

新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、様々な活動がオンラインで行われるようになりました。愛媛県協会でもスキルアップ研修にてZoomによるオンライン参加を可能にしております。今後、理論政策更新研修や役員会など他の場面に広げていけるよう、新たに「オンライン会議活用研究会」を発足して検討を進めてもらっています。

オンライン活用は感染症対策に留まらず、誰もが参加しやすい環境を整える

ために不可欠です。企業内診断士の方に協会活動への参画を促すためにも推進していきます。

■中小企業経営診断シンポジウム

農業経営者総合サポート事業調査研究報告の発表を11月4日に開催される中小企業経営診断シンポジウムの第二部会で行うことになりました。副会長の一ノ宮に加え参加可



能なメンバーで行く予定ですが、感染症がなければ携わった全メンバーで参加したかったところです。協会本部、東京都診断士協会、中小機構の方との人脈を築く良い機会でもあります。

第二部会は県としての活動が評価される場です。西日本から選出された代表として我々の活動内容を知ってもらうことは、本部や他県協会と連携して活動する際の助けになると期待しています。

■県の事業への参画

県が目指している経営支援の方針は、地域別に特色があります。

東予では、電気自動車など産業構造の変化を見据え大手の半導体事業を支える中小企業のものづくり技術、四国中央の紙産業で病院医療・オムツなど特殊用途への展開と海洋汚染低減のための素材・製品開発を振興していく方針となっています。

中予、南予では農業、水産業、食品製造業といった1次産業・2次産業の関わりで、原材料の品質向上、製造現場の改革、食品残渣を利用した製品開発支援が方針として示されております。特に南予の企業に対しては、事業計画を立て目標設定しながら経営していくことへの支援も盛り込まれています。

県の方針に沿って実効性のある経営支援を行うには、法令と業界の理解が必須です。社会情勢の変化とともに法令も変化します。企業が受ける影響を見極め、場合によっては事業転換、廃業、事業承継といった選択肢も視野にいたした助言が必要です。そのため今年度のスキルアップ研修では様々な業種・業界での経験をもった会員診断士の方に講師をお願いし、業界の動向や法令知識をインプットしてもらう場も設けています。

現在、農業経営者総合サポート事業の継続とともに、事業系食品ロス削減課題検証事業を受託し調査研究を進めております。先般、田中副知事に挨拶に伺った際にもご評価いただき、活動の積み重

ねにより「個々の診断士の活動」という認知から「県協会としての活動」との認知が得られつつあることは、着実な成果と捉えています。

■愛媛大学との連携

愛媛大学については学部長、部門長の方との繋がりを築きながら、新たな提案を続けています。大学が専門家に期待していることの1つは「現場の知識」です。就職活動を控えた3年生に企業の実態を、リアリティをもって伝え、学生の意識を高めることが求められています。

少子化による学生数減少のため、複数大学で共通の講義を受けられる仕組みも検討されています。録画した講義をオンラインで配信して他大学が活用する形式です。この形式では学生が繰り返し視聴することもでき、個人のペースで理解を深めることができるメリットもあります。こうした形式にも対応していく必要がありますが、オンラインで対応可能ということは、東京、大阪などの都市圏の専門家も参画可能となるため、競争が激しくなることが予想されます。

■変化する環境への対応

競争激化は大学の講義に限らず様々な場面で起こると予想され、一層のスキルアップが求められます。1つの目安として、現在実施されている事業再構築補助金で企業の変革を促す関わりをしながら、申請支援を着実にこなすレベルが求められると考えています。会員の皆様には日常業務にプラスして1つでも見識を広めて欲しいと思います。

また、経済産業省の方針として商工会議所、商工会連合会の経営指導員のスキルを高め、診断士に委託していた窓口相談や経営支援を独自に可能とすることが挙げられています。これまでと同じ取組では公的機関での窓口相談、経営支援は少なくなっていくと予想されます。

松山しごと創造センター事業では市から委託を受け上記業務を行っていますが、今後も診断士の活動できる場とし

であり続けるためには、支援内容や運営の在り方を変革して付加価値を高めていく必要があると考えています。

■企業内診断士の参画促進

企業に勤めている間に副業などの形で診断活動に参加し、知識・経験・人脈を築くのは独立後をイメージするための良い手段です。経験を経て独立をされる方が精神的・経済的なリスクを抑え、スムーズな事業立ち上げに繋がることと思います。

協会本部、県・市、各支援機関、大学など様々な方面で事業を企画提案しているのは、企業内診断士の方にも参画していただくチャンスを広げたいという思いがありますので継続して取り組んで参ります。

今後は企業内診断士の役員への参加も増やし、より意見を取り込みながら活動をブラッシュアップしていければと考えていますので、積極的な参画を期待しております。



事業紹介：新居浜商工会議所「新型コロナウイルス感染症対応のための経営相談体制強化事業」

事業委員長 多田 稔

令和3年6月1日付で新居浜商工会議所と業務委託契約を結び、経営相談事業を実施しております。実施期間は令和3年12月31日まで、毎月2回木曜9:00～16:00の日程で実施、各相談は1時間30分の枠が設けられ、毎回最大4件の相談予定が組まれる形です。

相談内容には補助金申請支援も含まれ、国の小規模事業者持続化補助金、ものづくり補助金、県のコロナ対応新ビジネスモデル補助金などの申請相談を受けてきました。

相談に訪れる事業者は、飲食、移動販売、建築工事、製缶製造、自動車販売、輸入販売など、個人事業も含めて多岐に渡っております。

6月24日の相談窓口を担当した多田事業委員長に、当日の様子を聞いてみました。

「この日は午前2件、午後2件、計4件の相談に対応しました。内容は小規模事業者持続化補助金(低感染リスク型ビジネス枠)の相談が2件、創業相談が1件、新規事業相談が1件です。

持続化補助金の相談者はいずれも飲食業で、1件はキッチンカーの導入で申

請に進むことになりましたが、もう1件は事前着手期限前にすでに事業を完了していたことが判明し、残念ながら申請不可である旨を説明しました。



創業相談と新規事業相談は、内容をヒアリングし当面の優先順位として資金調達を検討する必要があると判断しました。創業の相談者は日本政策金融公庫、新規事業の相談者は自身のメインバンクに相談するよう助言しました。

新居浜商工会議所の経営指導員は皆さん熱心で、中小企業診断士とともに質の高い支援をしたいという思いが伝わってきます。コンサルティングスキルの向上にとっても役立つ事業だと思います。」

最近では新居浜商工会議所のように、企業支援の高度化を図るため、中小企業診断士を活用する動きが各支援機関において見られます。事業委員会では今後も各機関との提携・協力関係を築き、事業開拓を進めて参ります。ぜひ積極的にご参加ください。

(記事編集：広報委員 濱田)



スキルアップ研修：愛媛大学教授による AI・IoT 講座

7月13日のスキルアップ研修では、愛媛大学工学部長の高橋寛教授を招いて「人工知能（AI）＋インターネット・オブ・ジंクス（IoT）の基礎的な学びと産業応用」という題名で講座が行われました。

前半では、「Society5.0で実現する社会」として現在起こっている社会・産業構造の変化と新しい技術がもたらす効果や役割を中心に、技術の基礎知識も交えながら解説していただきました。

「御社において IoT+AI で何を求めるのか？」のくだりでは、技術導入にあたって「カイゼン」「イノベーション」に対する検討例を挙げており、我々診断士にとっても馴染みのあるワードと結びつき、活用イメージが浮かびやすい内容でした。

IoT＝はかる、AI＝わかる、と端的に表現し、わかった結果から傾向と対策を導くことで戦略を立てる流れも、元のままだと難しく捉えがちな技術用語を、その本質を突く言葉に置き換えることで概念がすんなり頭に入ってくる部分であったと思います。

後半では、IoT+AIの活用事例として、農業における害虫発生モニタリング、愛媛県産ハダカムギ高品質化のための AI 画像診断システムなどの事例を紹介し

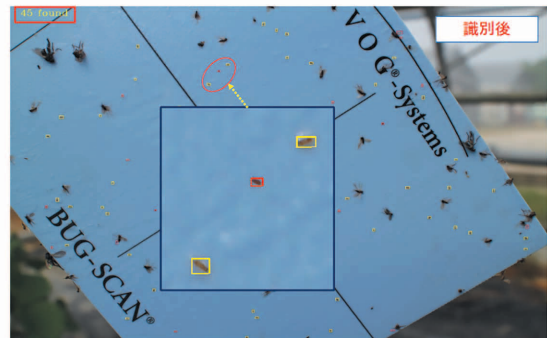
ていただきました。

実証の場面で IoT でのデータ取得と AI の分析がどのような形で行われているのか、具体的な理解を促す内容で、さらに使用しているデバイスも市販品を組み合わせるなど低コストで実現可能な点も興味深いと感じました。



愛媛大学工学部長
高橋寛 教授

検出結果(アザミウマ類)



先端情報技術とその活用を進める世の中の流れは今後、中小企業の経営にも影響を与える要因になってきます。今回の講座で得た知識を足がかりに企業への活用提案や助言ができるよう研鑽していきたいと思います。

(記事編集：広報委員 濱田)



オンライン会議活用研究会について

濱田 悠介

本研究会は理論政策更新研修のオンライン開催に向けて、課題と対策の検討を主目的に発足しました。付随して協会活動のオンライン対応、オンライン研修サービスの検討など、オンライン会議システムを活用した様々な可能性を探ることを目的としています。

発足のきっかけは、理論政策更新研修のオンライン対応が愛媛県協会において実施できないかどうか検討依頼があり、そのリスク分析を行ったことです。検討の結果、排除しきれないリスクと運用の困難さを挙げ、今年度のオンライン対応は実施しないとの結論に至ったの

ですが、同時に「1人の頭で考えていては発想に限界がある」とも感じておりました。

山本会長からも複数の視点・意見を取り入れられるよう会員に声をかけて研究会の形で検討を継続することをご助言いただき発足に至りました。

メンバーは様々な業種、ポジションの企業内診断士が集まって構成されており、多様な視点から活発な意見が出るこ

とを期待しております。実際にオンライン研修を受けた実経験を情報共有していただくなど、積極的な姿勢で参画してもらっております。

オンライン会議の活用は協会活動だけでなく、企業活動においてもすでに欠かせないものになっています。ビジネスシーンでも役に立つ知見が得られるよう議論を深めて、成果を共有していければと考えております。



入会ご挨拶

中木戸 康博

皆さま、はじめまして。2020年11月に診断士登録、同年12月に愛媛県中小企業診断士協会に入会させて頂きました、中木戸康博と申します。昭和50年生まれ、今年46歳になります。2017年に京都市から今治市へ移住して参りました。現在は造船関連の中小企業に勤務しており、総務・経理の仕事を中心に色々な業務を行っています。京都では小規模な私立病院に所属し、財務・総務・人事・ITシステムなど経営に携わる様々な仕事をさせて頂き、最後の数年は事務長を経験させて頂きました。

趣味は釣り(主に陸からルアーでの海

釣り、アジにはまっています)、読書(主に小説、中小企業診断士の試験勉強を始めてからビジネス書や自己啓発本も読むようになりました。子供が小学生になってからは図鑑なども面白いです)、音楽(ロックやポップスが多いです。以前は洋楽派でしたが、ここ数年、日本の若者の音楽は非常に充実していて興味深いです)、鳥の観察(長くなるのでこのへんでやめておきます。長々と失礼しました)等です。



中小企業経営に興味があります。これまで数社の中小企業に勤め、企業文化の変遷や醸成、人事や考課におけるトラブル、社内で一体感が生まれた時のダイナミズム、資金繰りの苦悩、経営者の孤独感、従業員が会社に貢献していると感じられたときのやりがい等、中小企業の内側から様々なものを目の当たりにすることができました。自身がその時に考えたこと、感じたこと、反省したことを今後の仕事に役立てていけたらと思います。柔軟に、クライアントにとって最善と思える選択をするための選択肢を、出来るだけ幅広く、多く提示できる診断士を目指したいです。

これから駆け出しの中小企業診断士として、何を優先してすべきか。企業内診断士として今後何が出来るのか。積極的に協会の研修や行事に参加させて頂き、諸先輩方にご指導を仰ぎ、自身成長していければと存じます。縁あって、好きで移住した愛媛県や今治市に、いつか恩返しが出来ればとも考えています。若輩でございますが、今後ともご指導ご鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。

昨年から続くコロナ禍が、早く収束することを願っております。皆さま、どうぞ感染にお気をつけて、ご自愛くださいませ。



入会ご挨拶

高野 祐介

はじめまして、令和3年1月に入会させていただきました、企業内診断士の高野祐介と申します。新潟県出身で平成11年に新卒で今治市の食品会社に就職しました。現在は、研究開発部門に所属し、容器包装の設計・開発に取り組んでいます。最近では、顧客企業様からSDGsなど環境に配慮した容器包装のご要望が徐々に増えており、日々検討に勤しんでおります。

私が中小企業診断士を目指した理由は、自己研鑽のためでした。原材料の調達部門に異動した時に、理系学部出身だった私は商社の営業マンが話す市場原理や企業戦略がチンプンカンプンで、経済・経営に関する知識不足を克服すべく、幅広い知識が求められる中小企業診断士の勉強を始めました。

診断士登録は平成26年ですが、松山市での協会活動に参加できないと思い

協会には入会していませんでした。しかし、オンライン会議の普及により以前より協会の活動に参加しやすくなったため入会させていただきました。



協会入会後は研修会や協会を通しての活動に参加させていただくことで、諸先輩方をはじめ、関係団体の方々や経営者とお話する機会に恵まれ、診断士として充実した日々を過ごしています。

今後は、「食」「農」の分野で重点的に経験を積みたいと考えており、今後も協会の活動に積極的に参加し、様々な方との出会いを大切にしながら、経営者に寄り添った診断士になれるよう努力して参りたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



入会ご挨拶

高木 佑典

皆様はじめまして。本年1月に入会いたしました、高木佑典と申します。1980年生まれの41歳。愛媛県農業協同組合中央会に勤務しており、県内JAの経営相談・支援に携わっている企業内診断士です。

私が中小企業診断士の取得を目指したのは、仕事柄、コンサルタントとしての知識・能力を高めるという自己研鑽の意味もありましたが、一番は、JA以外の業種のことを知るためのネットワークを作り、視野を広げたいという思いが強くなったからです。

JAは、先人から受け継がれ、地域に根付いた伝統のある組織ですが、一方で、長年築いてきた組織・事業の仕組みに囚われ、変革に弱い組織になってしまっているのではないかと感じています。近年は、加速する技術革新を柔軟に取り入れ、人々の生活様式の変化に合った新たな

ビジネスモデルを構築する企業が多くみられます。そういった様々な業種の動きも知り、アンテナを広く張って、変化に強い組織を作りたいと考えています。



私は、物心ついてからこれまでずっと、愛媛・松山で暮らしてきました。他の土地を知らない私ですが、不自由を感じたことはなく、暮らしやすい、よい町だと思っています。自分の子供たちにも、元気な地域を残していきたいです。

これから色々な業種の皆様と関わり、広い視野と経験を身につけ、JAや協会の仕事を通じて地域の活性化に貢献していきたいと思っています。今後ともご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



入会ご挨拶

松下 武司

みなさま、こんにちは。今年の3月に入会いたしました松下武司と申します。

この3月に31年間勤めていた会社を退職し、独立診断士としてスタートを切ったばかりのところになります。

私は現在、兵庫県西宮市に住んでいます。前職の住宅機器メーカーの営業職の時代に、東京、横浜、徳島、愛媛、広島、大阪と全国各地で活動を行ってきました。その中で愛媛県には2005年～2015年まで駐在して、2016年～2020年までは広島から愛媛の業績を担う立場になり、合計15年間愛媛の市場に携わらせていただきました。退職を機に愛媛に恩返しをしたいと思い、愛媛県中小企業診

断協会に入会いたしました。

そもそも診断士の資格を取るきっかけも四国にあります。若い頃、東京、横浜で大きな物件に携わってきて、できる営業マンという自負があったのですが、四国に来て代理店の経営まで関わるようになった時に、自分に経営の知識がないことに気付かされました。自分の力のなさにかかなりのショックでしたが、これが資格取得のきっかけとなり、今ではいい思い出になっています。



新型コロナウイルス感染症のため、関西から愛媛へ行くことが難しい状況ですが、収束後はしっかりと貢献できるよ

うに頑張りたいと思いますので、ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



入会ご挨拶

溝淵 博志

はじめまして。溝淵博志と申します。高松出身で四国のメーカーに就職し、延べ11年の海外出向も含め経理・事業管理業務を中心にM&Aやグループ事業管理などに関する経験を積んでまいりました。また様々な国の方々との交流のなかでビジネスを含む異文化体験の機会に恵まれました。帰国後、意に反して東京勤務が長くなりこの先地元への貢献が望めないと判断し、一昨年退職して四国に帰ってまいりました。その後中小機構、愛媛県よろず支援拠点で国際化、経営改善支援の機会を頂きつつ資格勉

強を進め4月に登録したばかりの新米ですが、今後は出身地香川と現住所愛媛の企業様のため自分のスキル・知見を活かして少しでも貢献できればと考えています。とはいえ永らく留守にしており土地勘もないなかで、ぜひ先輩のご指導とお導きをいただければ幸いです。じっとしているのが苦手で小旅行にふらっとでかけたりします。どうぞよろしくお願いいたします。



令和3年度 愛媛県協会入会者数 (令和3年9月1日現在)
新入会員：10人 (内訳：独立診断士5人、企業内診断士5人)

溝淵博志さん、中山敦之さん、山崎俊明さん、山中智雄さん、上岡誠司さん、岡本悠己さん、賛助会員4名の計10名が今年度、新たに入会（準会員、賛助会員から正会員への変更も含む）されました。

コロナ禍のため節目で行っていた懇親会は今も開催見込みが立ちませんが、スキルアップ研修の場などを通じて交流を図っていただければと思います。

新入会員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします！（広報委員 炭谷、濱田）



お知らせ

■令和3年度（後半）の行事予定

日程	行事内容
10月29日(金)	四国ブロック会議 (香川県)
11月6日(土)	「中小企業診断士の日」イベント
12月14日(火)	会員研究会

■スキルアップ研修予定

日程	テーマ (予定)
10月19日(火)	物流業界の現状と課題解決への取り組み
11月9日(火)	コロナ禍における食品業界の現状
12月14日(火)	※会員研究会にて愛媛大学崔教授による講座予定

会場：松山市男女共同参画推進センター 会議室3